

『芸術の価値とは何か』

— AI が奪い尽くすからこそ、アートに「解」がある

秋元雄史 / 元・東京藝術大学大学美術館長・教授

直島のアートプロジェクトを主導した後、
金沢21世紀美術館の館長を務めた
伝説の美術評論家が解説する。

■内容紹介(200字)

なぜ人は芸術に巨額を投じるのか。作家の価値が爆上がりするときとは。市場は何に反応をしているのか。そして、芸術の真価とは何か。「ベネッセアートサイト直島」として知られプロジェクトを成功に導き、金沢21世紀美術館館長、東京藝術大学大学美術館長を歴任。アートの真価を問い続ける伝説の美術評論家が、アートを読み解くための「見取り図」を提示する。AIがすべてを奪ってゆく時代だからこそ、アートに意味がある。

【書誌情報】

『芸術の価値とは何か』

— AI が奪い尽くすからこそ、アートに「解」がある

著者： 秋元雄史

定価： ¥1,210 税込

発行： 26年4月9日刊行 288 頁

【著者】

★秋元雄史

Akimoto Yuji

1955年東京生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科卒業後、作家活動をしながらアートライターとして活動。1991年福武書店（現・ベネッセコーポレーション）に入社、直島のアートプロジェクトを担当。開館時の2004年より地中美術館館長／公益財団法人直島福武美術館 財団常務理事に就任、ベネッセアートサイト直島・アーティストックディレクターも兼務。2007年 金沢21世紀美術館 館長、2015年東京藝術大学大学美術館 館長・教授、2018年練馬区立美術館 館長を歴任。著書に『直島誕生』『おどろきの金沢』『アート思考』等がある。



【お問い合わせはこちらまで】

中央公論新社 書籍編集局 ノンフィクション編集部

〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル19階

Tel:03-5299-1870 Fax:03-5299-1929

中西恵子 k-nakanishi@chuko.co.jp